品川（しながわ）エトワール高等学校

住所	〒140-0004　東京都品川区南品川5-12-4
電話	03-3474-2231
アクセス	●大井町駅（JR京浜東北線、東急大井町線、東京臨海高速鉄道りんかい線）より徒歩6分 ●青物横丁駅（京急本線）より徒歩2分
創立	1934年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.etoile-ed.jp/highschool/

珍しい短ネクタイも……選択可能

夏服はブラウスにチェックのスカート、冬服はエンブレムつきの紺色ブレザーにチェックのスカートのスタイルです。ブラウスは白、黄色、水色の3色、オプションのベストとセーターは白とアイボリーの2色から選べます。襟元につけるストライプ柄のネクタイはノーマルなタイプと短めのタイプの2種類。カラーバリエーションは赤、青、黄色の3色で、入学年度によって色が異なります。

グラビアアイドル市川由衣の写真集『制服コレクション』で制服が取り上げられたり、元Berryz工房の石村舞波が学校紹介のパンフレットに載るなど、何かと話題の品川エトワール。キャンパスがテレビや写真撮影のロケ地に使われることも多く、芸能関係の業界人がよく訪ねてくる学校としても知られています。

学校法人町田学園が経営しており、同校の併設校にはエトワール幼稚園があります。また、海外の姉妹校としてアメリカのヴァレークリスチャン・ハイスクール、ウッドローズ・プレパラトリースクールなどがあります。

夏服（なつふく）

実践女子学園高等学校

住所	〒150-0011　東京都渋谷区東1-1-11
電話	03-3409-1771
アクセス	●渋谷駅（JR 山手線　埼京線、東京メトロ 銀座線　半蔵門線　副都心線、京王 井の頭線、東急 東横線　田園都市線）より徒歩10分 ●表参道駅（東京メトロ 銀座線　千代田線　半蔵門線）より徒歩12分
創立	1899年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.jissen.ac.jp/chuko/

実践女子学園は1899年の開校時から制服を制定し、当初は袖下の長い和服に袴を合わせる「女子大生の卒業式スタイル」でした。現行モデルは1939年に改定された、伝統校にふさわしいオーソドックスなセーラー服。中学高校ともにデザインは同じで、中学生はエンジ色、高校生は黒い色のスカーフをつけます。冬服は黒っぽいことから同校の生徒は「渋谷のカラス」と呼ばれることもありますが、これは同じ渋谷区にある東京女学館高等学校の愛称「渋谷の白鳥」と好対照です。

生活指導を重視している実践女子学園高等学校では、登下校時のコンビニなどへの立ち寄りを固く禁止している代わりに、学内には食堂、学用品店、書店、写真店などが完備されています。同校が位置する渋谷区東は狭い地域に学校が密集しており、2万5千㎡の広々としたキャンパスは緑であふれています。

実践女子大学、実践女子短期大学は同校の上級学校です。

卒業生には、女優の渡辺美佐子、塩沢ときなどがいます。

夏服（なつふく）

東京女学館高等学校（とうきょうじょがっかん）

住所	〒150-0012　東京都渋谷区広尾3-7-16
電話	03-3400-0867
アクセス	●広尾駅（東京メトロ 日比谷線）より徒歩12分 ●渋谷駅（JR 山手線　埼京線、東京メトロ 銀座線　半蔵門線・副都心線、京王 井の頭線、東急 東横線・田園都市線）よりバス10分→東京女学館前停留所（都営バス）
創立	1888年
募集	中学高校
公式サイト	http://www tjk jp/mh/

クリーム色系の
白という
珍しい色の冬服。

夏服冬服ともに、昔ながらのセーラー服ですが、青いシルクのスカーフが目にまぶしい洗練されたデザインです。この制服の最大の特徴は、冬服の上着が一般的な紺でなく、クリーム色がかった白であること。これは英国生まれの教師ドロセア・E・トロットの言葉「イギリスでは高貴な人は白を着る」に倣ったものです。この白いセーラー服は、1930年に制定されて以来変わらぬ人気を誇り、これをまとった生徒たちは「渋谷の白鳥」と呼ばれることもあるほどです。正装以外のオプションには、白と紺のセーターと、森英恵デザインの紺地に金ボタンのコートがあります。

伝統あるお嬢様学校として名高い東京女学館は、体育祭も他校とは一味違うお嬢様流。高三生がプログラムの最後にセーラー服姿で舞い踊る宮廷ダンス「カドリール・プロムナード」は圧巻です。

経営は学校法人東京女学館が行っており、東京女学館大学、東京女学館小学校は同校の併設校です。

卒業生には、女優の夏目雅子、アナウンサーの南美希子などがいます。

冬服（ふゆふく）

夏服
なつふく

鷗友学園女子高等学校

住所	〒156-8551 東京都世田谷区宮坂1-5-30
電話	03-3420-0136
アクセス	●経堂駅（小田急 小田原線）より徒歩8分 ●宮の坂駅（東急 世田谷線）より徒歩4分
創立	1935年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.ohyu.jp/

冬服の正装はグレー無地のブレザースーツ、夏服の正装はチェックのベストにスカートを合わせたスタイルで、リボンの色は高校生が紺、中学生がエンジ色になっています。このほか、チェックの替えスカートやニットベスト、セーター、オーバーブラウスなどのオプションが充実しており、さまざまなコーディネートを楽しめるのが特徴です。

鷗友学園女子では生徒自身が将来の目標を見つけて進んでいけるよう、基本教科以外の授業も積極的に取り入れています。中一、高一の必修科目になっている園芸の授業では、校舎裏の畑で野菜作りを学びます。ここで園芸の魅力に目覚め、大学は農学部に進学する生徒もいるのだとか。また、60年以上の伝統を誇るリトミック（音楽を用いた教育手法の一種）の授業を全学年で実施しており、三年生はその集大成として全員で創りあげたダンスを運動会で披露します。

卒業生には、音楽評論家の湯川れい子、歌手の伍代夏子、女優の岡江久美子などがいます。

佼成学園女子高等学校

住所	〒157-0064　東京都世田谷区給田2-1-1
電話	03-3300-2351
アクセス	●千歳烏山駅（京王電鉄 京王線）より徒歩6分
創立	1954年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.girls.kosei-ac.jp/

スカーフ留めに"Kosei"の文字が入る……

中学、高校ともオーソドックスなセーラー服で、人気があります。夏服は、白のセーラー服と紺のプリーツスカートの組み合わせ。セーラーカラーは紺色で、白い3本線が入っています。冬服は上下とも紺色で、外見上はわかりませんがスカートはジャンパースカートになっています。夏はスカーフをリボンのように結び、冬はスカーフ留めに通して垂らします。中学と高校とでスカーフの色が異なり、中学は淡い紺色、高校は濃紺となっています。

本校では「心の深い交流」、「豊かな英語学習環境」、「進路実現」を学校生活の柱としています。英語教育に力をいれており、ネイティブの先生が多数常勤しているほか、特進留学コースでは、高校二年次に全員がニュージーランドへ1年間の留学を行います。春、秋の年2回、全校をあげて英検取得に取り組む「英検まつり」がユニークな試みです。

宗教法人立正佼成会の関連団体である学校法人佼成学園が運営を行っています。関連学校として、佼成学園中学校・高等学校があります。

目黒星美学園高等学校

（めぐろせいび）

住所	〒157-0074　東京都世田谷区大蔵2-8-1
電話	03-3416-1150
アクセス	●成城学園前（小田急 小田原線）よりバス10分 →成育医療センター前停留所（小田急バス、東急バス）より徒歩4分 ●用賀駅（東急 田園都市線）よりバス20分 →大蔵二丁目停留所（東急バス）より徒歩3分
創立	1963年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.meguroseibi.ed.jp/

冬服はダブルボタンの紺色ブレザーに、グリーン系チェックのスカート。ブレザーの胸ポケットにある金色の装飾はエンブレムではなく刺繍です。夏服はブラウスにスカートの組み合わせですが、ブラウスは個性的なデザインで、襟、袖口、ポケットそれぞれに紺色の2本線が入っています。付属のネクタイも同様の2本線が入っており、さらにこの上から2本線入りのセーターを合わせることもできます。夏のスカートはブルーグレーのチェック柄で、ブラウスとネクタイにしっくりくる色味です。

カトリック系ミッションスクールの目黒星美学園では、東京の赤羽にある星美学園と同様、毎年5月に聖母祭を行っています。当日は全校生徒が行列をつくって校庭のマリア像まで進み、一人ずつ献花をしますが、このような宗教行事は道徳教育の一環にもなっています。

同校の併設校には目黒星美学園小学校があるほか、都内の星美学園をはじめ、全国に多数の姉妹校があります。

卒業生には、アナウンサーの中井美穂などがいます。

冬服（ふゆふく）

夏服
なつふく

戸板女子高等学校

住所	〒158-0097　東京都世田谷区用賀2-16-1
電話	03-3707-5676
アクセス	●用賀駅（東急 田園都市線）より徒歩5分
創立	1902年
募集	中学高校
公式サイト	http //www toita ed.jp/

襟の色が
途中から
変わるのが特徴

伝統ある女子校らしく、気品ある、清楚な装いの制服です。夏は白、冬は紺のセーラー服で、基本デザインは変わりません。セーラーカラーの３本線の入り方が特徴で、線が襟口まで入らず途中で切れるので、セーラーカラーの上にもうひとつ襟が重なっているように見えます。スカーフの結び方も特徴で、根元で手結びして長く垂らします。中学、高校とも同じ制服ですが、スカーフの色が高校は紺で中学はエンジ色です。

世田谷区の閑静な住宅街にある約６千坪のキャンパスは、ゆとりと安らぎを感じさせる設計で、生徒は豊かなスクールライフを送れます。2002年に創立100周年を迎えた伝統ある学校で、創立者の戸板関子が好んだ「知・好・楽」が校訓として受け継がれています。また、四年制大学への進学率は2008年度実績で77.6％と、近年進学率を伸ばしてきています。

運営は学校法人戸板学園が行っており、系列校に戸板女子短期大学があります。

卒業生には、女優の松金よね子、フィギュアスケート選手の佐藤有香などがいます。

夏服（なつふく）

冬服

光塩女子学院高等科

住所	〒166-0003　東京都杉並区高円寺南2-33-28
電話	03-3315-1911
アクセス	●高円寺駅（JR中央線　総武線）より徒歩12分 ●東高円寺駅（東京メトロ丸ノ内線）より徒歩7分
創立	1931年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.koen-ejh.ed.jp/

小中高と同じ制服で、一目で光塩女子とわかる独特のデザインです。夏冬とも、白いブラウスに合わせる青と銀のストライプのネクタイが特徴的。これに夏服は、いまどき珍しい紺色のジャンパースカートで、太めのプリーツが胸の辺りまで伸びます。冬服は、紺色のダブルのブレザーで、左胸のエンブレムがアクセントになっています。

本校はカトリック系のミッションスクールで、お嬢様学校として知られます。同校には初等科・中等科も併設されているため、登下校の時間になると、高円寺駅周辺は初等科から高等科まで同じ制服を着た生徒たちであふれます。また、本校は都内有数の進学校でもあり、毎年難関大学に多くの合格者を出しています。校名の由来は、「社会で必要とされる光、塩の役目を果たすように」という聖書に由来する言葉です。

関連校として、光塩女子学院初等科、光塩女子学院幼稚園、光塩女子学院日野幼稚園のほか、萩光塩学院などがあります。

卒業生には、作家の有吉佐和子、アナウンサーの菊間千乃などがいます。

夏服（なつふく）

冬服
ふゆふく

文化女子大学附属杉並高等学校

住所	〒166-0004　東京都杉並区阿佐谷南3-48-16
電話	03-3392-6636
アクセス	●阿佐ヶ谷駅（JR中央線・総武線）より徒歩7分 ●荻窪駅（JR中央線・総武線）より徒歩8分
創立	1926年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.bunsugi ed.jp/

コシノジュンコデザインの今風の制服。冬服は黒に近いグレーの４つボタンブレザーに、プリーツスカートを合わせます。ブレザーは丈が長めで、右側のみ腰ポケットが二段になっているのが特徴。また、女子高には珍しいスラックスも用意されていますが、はいている生徒はほとんど見かけません。襟元には、黄または青のリボンのほか、ネクタイも選べます。夏服は白かピンクのブラウスに、クリーム色のニットベストの組み合わせです。スカート、スラックスは、夏冬ともにブレザーと同色のグレーか、２種類のチェック柄から選べます。

本校は名前の通り文化女子大学の附属校ですが、近年は学力の向上に伴い他大学に進学する生徒が増えており、同大への進学者は２～３割程度まで減少してきました。比較的まじめな生徒が多いようで、制服を着崩した生徒は見かけません。また、昔から部活動が盛んで、運動部は関東大会やインターハイの常連です。

系列校に、文化女子大学、文化女子大学短期大学部、文化女子大学室蘭短期大学などがあります。

夏服（なつふく）

冬服

川村高等学校（かわむら）

住所	〒171-0031　東京都豊島区目白2-22-3
電話	03-3984-8321
アクセス	●目白駅（JR山手線）より徒歩2分 ●雑司が谷駅（東京メトロ 副都心線）より徒歩7分
創立	1924年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.kawamura.ac.jp/

中高ともに夏は白、冬は紺のセーラー服です。一見オーソドックスなデザインですが、白い3本線の入り方が独特で、ラインの長さを少しずつ変えることによって校名の「川」の字を表現しています。この3本線はセーラーカラーと袖口に配されており、一目で川村の制服とわかるポイントとなっています。また、3本線が胸元まで伸びず、途中で止まっているのも他校のセーラー服には見られない特徴です。

本校は学内施設を充実させ、自由でのびのびとした教育環境づくりを心掛けています。生徒たちは温水プールやトレーニングルームで汗を流したり、作法室と呼ばれる32畳の和室で女性らしい所作を身につけることもできます。現在は新校舎に移された作法室ですが、床の間と欄間は創立当初の旧校舎から移築した歴史あるものです。

学校法人川村学園が経営しており、川村学園女子大学、川村小学校、川村幼稚園は同校の併設校です。

卒業生には、女優の佐久間良子、五十嵐淳子、海老名美どりなどがいます。

冬服

安部学院高等学校

住所	〒114-0005 東京都北区栄町35-4
電話	03-3913-2323
アクセス	●王子駅（JR 京浜東北線、東京メトロ 南北線）より徒歩4分 ●栄町駅（都電 荒川線）より徒歩1分
創立	1940年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.abe-gakuin.ed.jp/

デザイナーの芦田淳が手がけた制服は、一年を通してライトブルーのブラウスに、グレーチェックのスカートを合わせたスタイル。ブラウスにつけるリボンタイは独特の千鳥格子柄で、たっぷりとしたスカーフのような質感が特徴です。この上に夏はオフホワイトのニットベストを、冬はブルーグレーのジャケットを着用します。ジャケット、ニットベストともにエンブレムがつきますが、ニットベストのエンブレムは学年によって色が変わります。

本校では、「物覚えが悪くとも、努力すれば必ずゴールに辿り着く」という、『ウサギとカメ』の「カメ」を手本とする人情味豊かな教育方針を示しています。また、女子レスリングの強豪校でもあり、同校のレスリング部は、まだ女子レスリングが日本に上陸したばかりの頃につくられ、着実に成長を続けました。現在では全国制覇はもとより、世界大会で活躍する部員も目立ち、未来のオリンピック選手の誕生も期待されています。

卒業生には、女子プロレスラーの永島千佳世などがいます。

夏服
(つふく)

女子聖学院高等学校（じょしせいがくいん）

住所	〒114-8574 東京都北区中里3-12-2
電話	03-3917-2277
アクセス	●駒込駅（JR山手線、東京メトロ南北線）より徒歩7分 ●上中里駅（JR京浜東北線）より徒歩10分
創立	1905年
募集	中学のみ
公式サイト	http://joshisei.netty.ne.jp/

スカーフ留めの
青い校章が特徴

夏は白、冬は紺のオーソドックスなセーラー服です。1933年に制定された現行モデルは胸あてのないタイプで、これは本場イギリス海軍のセーラー服に倣ってつくられました。制服のデザイナーは特におらず、教員や生徒たちの意見を元に今のデザインに決まったそうです。着用の際は襟のスカーフは結ばず、校章のバッジの付いたスカーフ留めに通します。スカーフの色は学年ごとに変わり、高一は紺、高二は黒、高三はシルバーグレーです。式典時には、全校生徒が白いスカーフをつけます。

女子聖学院は中高一貫のプロテスタント系ミッションスクールです。中学と高校は同じ校舎に入っているため一体感があり、生徒たちはじっくり人間関係を育みながらキリスト教への理解を深めます。

経営は学校法人聖学院が行っており、グループ校には聖学院大学、聖学院中学校・高等学校、聖学院小学校、聖学院幼稚園、聖学院みどり幼稚園、アトランタ聖学院国際学校があります。

卒業生には、声優の林原めぐみなどがいます。

冬服（ふゆふく）

夏服
なつふく

星美学園（せいび）高等学校

住所	〒115-8524　東京都北区赤羽台4-2-14
電話	03-3906-0054
アクセス	●赤羽駅（JR 埼京線　高崎線・宇都宮線　京浜東北線）より徒歩10分 ●赤羽岩淵駅（東京メトロ 南北線）より徒歩7分
創立	1948年
募集	中学高校
公式サイト	http //www jsh seibi ac jp/

カトリック修道院をイメージさせる制服は、ミッションスクールの星美学園高等学校にふさわしいデザイン。冬服は水色のエンブレムがついたノーカラージャケットにプリーツスカート、夏服は半袖ブラウスにベストとアイボリーのプリーツスカートを合わせたスタイルです。夏冬ともにブラウスの襟元には紺色のリボンをつけます。制服は中高共通で、ジャケットのエンブレムの色とリボンの色のみ変わるのが特徴です。

星美学園では創立記念日である5月24日を聖母祭の日と定めています。この日には聖母マリアに感謝を捧げるため、学園の園児から短大生、同窓生、教職員、シスターなどが一同に会し、祈りを唱えながら練り歩く「聖母行列」が恒例行事となっています。

学校法人星美学園が運営しており、同校の併設校は都内に星美学園短期大学、星美学園小学校、星美学園幼稚園があるほか、静岡、大阪、長崎、大分にもグループ校があります。目黒星美学園中学校・高等学校や城星学園中学校・高等学校は姉妹校ですが、別法人の運営です。

東京女子学院高等学校

住所	〒177-0051　東京都練馬区関町北4-16-11
電話	03-3920-5151
アクセス	●武蔵関駅（西武 新宿線）より徒歩3分
創立	1936年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.tjg.ac.jp/

珍しい
チェック柄の
ジャケット

夏は白、冬は黒いセーラー服。夏冬ともに胸につけるネクタイは芙蓉の葉の織り柄のサテン生地でできており、知的で上品な印象です。冬のセーラー服に合わせる千鳥格子のジャケットは東京女子学院ならではの人気アイテム。胸ポケットのエンブレムは芙蓉の花をかたどったピンク色で、モノトーンの制服に華やかな色味を添えています。また、校内着として薄ピンクの開襟シャツとグレーのキュロットを採用しており、夏の暑い日には着用が許されます。

女性としての品性を重んじる東京女子学院では、授業の始まりと終わりには必ず「ごきげんよう！」と挨拶をします。同校の学習カリキュラムには基本教科のほかに礼法、華道、弦楽器、第二外国語（フランス語または中国語）の時間が盛り込まれ、生徒たちは受験勉強では得られない教養を身につけることが可能です。そのほか、おしとやかな女性の育成に欠かせないのが校内清掃の時間。毎日終礼前には全校生徒がピンクのエプロンを着て、教室、廊下はもちろん、体育館や校庭に至るまできれいに仕上げます。

冬服

豊島岡女子学園高等学校

住所	〒170-0013　東京都豊島区東池袋1-25-22
電話	03-3983-8261
アクセス	●池袋駅（JR山手線　埼京線、東京メトロ 丸ノ内線　有楽町線　副都心線、東武 東上本線、西武 池袋線）より徒歩7分 ●東池袋駅（東京メトロ 有楽町線）より徒歩2分
創立	1892年
募集	中学高校
公式サイト	http //www toshimagaoka ed jp/

伝統的なデザインのセーラー服で、夏冬とも基本デザインは同じ。上着の色は夏が白、冬が紺で、紺色のセーラーカラーと袖口に白い3本線があるのは共通です。胸元のリボンを小さく結ぶのが特徴ですが、このリボンの形は校章の「ハト」を模ったものだそうです。襟に3本ラインのある胸あてのないセーラー服で、紺のプリーツスカートを採用していることから、大妻高等学校の制服と非常によく似ています。しかし、よく見ればリボンの結び方が若干異なり、豊島岡の夏服には袖口にも3本ラインがあるなどの違いがあります。

本校は東京大学合格者を毎年10人以上出す、都内でも有数の進学校です。高偏差値の学校は比較的校則がゆるい傾向にありますが、本校はかなり厳しく、精神修養として毎朝5分間の運針（手縫いの基本所作）をさせるなど独特のしつけ教育も行っています。運針の指導や、リボンの結び方などは、上級生が下級生に教えるのが本校の伝統です。

卒業生には、漫画家のくらもちふさこ、女優の夏木マリなどがいます。

北豊島高等学校（きたとしま）

住所	〒116-8555　東京都荒川区東尾久6-34-24
電話	03-3895-4490
アクセス	●東尾久3丁目駅（都電 荒川線）より徒歩5分 ●町屋駅（都電 荒川線、東京メトロ 千代田線、京成 本線）より徒歩12分
創立	1926年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.kitatoshima.ed.jp/

伝統と格調が感じられる制服のデザインは、渡辺雪三郎の手によるもの。冬服は紺のジャケットスタイルで、その下に着るベストとスカートは目にも鮮やかなブルーのブリティッシュチェック柄で統一されています。夏服はシンプルな紺のベストとスカート。クロスタイの色は学年によって変わります。

本校では大学進学を目指した授業のほかに、一般教養講座を設けています。これは感性を育成するための授業で、生徒たちは13前後の講座の中から自分の興味に合ったものを選択できます。講座のバリエーションはかなり豊富で、ジャズダンス、琴、ギターの弾き語り、手話、指圧などユニークなものもあります。

経営は学校法人北豊島学園が行っており、グループ校に北豊島医療専門学校、北豊島幼稚園があります。なお、北豊島高等学校には通信制過程もありますが、こちらは男女共学で、スクーリングの場所も本校とは異なります。

卒業生には、女優の大原麗子、丘みつ子、原千晶などがいます。

ここで布は分かれており巻きスカートになっている

冬服（ふゆふく）

東京家政大学附属女子高等学校

住所	〒173-8602　東京都板橋区加賀1-18-1
電話	03-3961-2447
アクセス	●十条駅（JR 埼京線）より徒歩5分 ●新板橋駅（都営 三田線）より徒歩12分 ●下板橋駅（東武 東上本線）より徒歩15分
創立	1881年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.tokyo-kasei.ed.jp/

本校では創立120年を記念して制服を一新しました。新しい冬服は、イタリアのパターン技術を採用した着心地の良いスリーピース。ジャケット、ベスト、プリーツスカート、クロスタイともに紺色で統一されていますが、オプションとしてチェック柄のベストとスカートも選択できます。夏服は、冬服と同じデザインのベストとスカートに半袖ブラウスですが、さらに暑い時期のために盛夏服も用意されています。盛夏服は、白いセーラーカラーのついた、紺色の一本線がアクセントとなるブラウスに、クロスタイではなくネクタイを合わせます。中学も基本的な制服のデザインは変わりませんが、ネクタイの色はエンジ色です。

少々地味ではありますが、のんびりとした校風の東京家政。校章の鳩をモチーフとしてつくられたオリジナルキャラクター「チッチ」と「ポッポ」は、そんな校風を反映したような癒し系のルックスです。

東京家政大学、東京家政大学短期大学部は同校の上級学校で、毎年大勢の生徒が進学しています。

冬服
ふゆふく

江戸川女子高等学校

住所	〒133-8552　東京都江戸川区東小岩5-22-1
電話	03-3659-1241
アクセス	●小岩駅（JR 総武線）より徒歩10分 ●江戸川駅（京成 本線）より徒歩15分
創立	1948年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.edojo.jp/

ワンタッチ式の
ネクタイは
結ぶ手間いらず

冬服は、濃紺のダブルボタンブレザーに青系のタータンチェック柄のスカート。エンジ色のネクタイはワンタッチで着脱できるタイプです。夏服は、グレー系のグレンチェックのスカートにニットベスト、ブラウス、青リボンを合わせたスタイル。ブラウスの色は水色か白を、ニットベストの色はネイビーブルーか白を、それぞれ選んでコーディネートすることができます。また、靴下は校章つきで、冬は紺のハイソックス、夏は若干短めの白ソックスです。

江戸川女子では快適な学園生活のための環境づくりに力を入れています。1998年に竣工した新校舎は、まるで中世のお城のよう。これは「お姫さまになりたい」という生徒たちの意見を校長が聞き入れて実現させたそうです。

江戸川学園取手中学校・高等学校は同校の姉妹校です。江戸川大学総合福祉専門学校、江戸川女子短期大学、江戸川大学も同グループに属しますが、なぜかグループ内の高校は他大学への進学を奨励しており、グループ校への進学者はほとんどいません。

冬服 ふゆふく

愛国高等学校

住所	〒133-8585　東京都江戸川区西小岩5-7-1
電話	03-3658-4111
アクセス	●京成小岩駅（京成 本線）より徒歩3分 ●小岩駅（JR 総武線）より徒歩10分 ●新柴又駅（北総鉄道 北総線）より徒歩13分
創立	1938年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.aikokugakuen.ac.jp/senior-high/

夏服は半袖ブラウスにチェックのプリーツスカート。襟元にはスカートと同じチェック柄のリボンをつけます。全体的に柔らかい色味ですが、上にキャメルカラーのベストを着ると、より一層優しい雰囲気が出ます。冬服は流行にとらわれないトラディショナルなスーツスタイルを守りつつ、紺色のブレザーにエンジ色の縁取りを入れてアクセントを効かせています。ブラウスにつけるネクタイは夏服と同じチェック柄。ブレザーの襟に撫子の花をデザインした校章バッジをつけてコーディネートを完成させます。

愛国高等学校では普通科と商業科のほかに衛生看護科と家政科を設け、より専門的な授業も行っています。衛生看護科の実習服は白と淡い水色の色合いが爽やかで、ふんわりした袖がとてもかわいらしいデザインです。

同校の併設校には、愛国学園大学、愛国学園短期大学、愛国学園保育専門学校、愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校、愛国学園大学附属四街道高等学校などがあります。

冬服（ふゆふく）

吉祥女子高等学校（きちじょう）

住所	〒180-0002　東京都武蔵野市吉祥寺東町4-12-20
電話	0422-22-8117
アクセス	●西荻窪駅（JR中央線　総武線）より徒歩8分
創立	1948年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.schoolguide.ne.jp/kichijo/

紺系で
統一され
りりしい印象

武蔵野随一のお嬢様学校らしく、清楚な雰囲気を漂わせる制服となっています。冬服はブレザータイプ。ブラウスは白を正装としますが、オプションでライトブルーのものも選べます。スカートは紺無地を正装とし、チェックのスカートや紺無地のズボンもオプションとしてあります。夏服は、冬服と同様のブラウスとスカートの組み合わせで、紺色のセーターやベストも用意されています。また正装時には、紺のストライプのネクタイを合わせます。中学も制服は同じですが、ネクタイではなく、エンジ色のストライプのリボンをつけます。

本校は2007年度より高校の募集をやめ、中高完全一貫教育校になりました。進学校として実績を上げており、毎年東京大学に合格者を出しています。そのためか、制服を着崩したギャル系の派手な生徒は見かけません。また、「きっしょうじょし」と呼ばれることも少なくありませんが、正しくは「きちじょうじょし」です。

卒業生には、声優の榎本温子、女優の釈由美子、生稲晃子、バレリーナの森下洋子などがいます。

冬服（ふゆふく）

藤村女子高等学校（ふじむら）

住所	〒180-8505　東京都武蔵野市吉祥寺本町2-16-3
電話	0422-22-1266
アクセス	●吉祥寺駅（JR 中央線　総武線、京王 井の頭線）より徒歩5分
創立	1932年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.fujimura.ac.jp/

ブラウスは
水色の
ボタンダウン

冬服は、３つボタンの濃いグレーのジャケットに、グレーとブルーのチェックのスカートを合わせたもの。中に着るブラウスは淡いブルーで、ネクタイは濃紺・白・水色のストライプと凛々しい印象です。夏服は、やはり淡いブルーのブラウスに、チェックのスカートの組み合わせ。胸元がグレーとブルーのチェックのリボンに変わって、かわいらしい雰囲気になります。サブアイテムとして、グレー無地のスカート、スラックス、ニットベストなどがあります。ハイソックスは学校指定の濃いグレーです。

本校は、吉祥寺の繁華街のど真ん中という好立地にあるため、放課後も楽しく過ごすことができそうです。とはいえ、大学進学率も決して低くはなく、中堅私大に進む生徒が多くいます。

運営は学校法人井之頭学園が行っています。姉妹校として東京女子体育大学があり、とくに本校のスポーツ科学コースからは同大に多くの進学者がいます。

本校には、タレントの内田有紀、優香も一時期在籍していました。

冬服（ふゆふく）

晃華学園高等学校

住所	〒182-8550　東京都調布市佐須町5-28-1
電話	042-482-8952
アクセス	●つつじヶ丘駅（京王電鉄 京王線）より徒歩20分、バス5分 →晃華学園停留所（京王バス）より徒歩5分 ●三鷹駅（JR 中央線・総武線）よりバス25分 →晃華学園東停留所（小田急バス）より徒歩5分
創立	1963年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.kokagakuen.ac.jp/

2007年度から新制服を採用しています。夏服は、白のブラウスに、薄いグレーの前ひだスカートで、薄いパイオレットのニットベストも着用できます。冬服は、濃いグレーのシングルブレザーの下に、夏服と同じデザインのスカートを合わせます。冬服にはエンジ色のネクタイを締めますが、落ち着いたグレーの制服の中でアクセントとなっています。

本校は「英語の晃華」と言われるほど英語教育に力を入れており、高一の夏休みには約一カ月間の語学研修があります。進学実績も高く、毎年難関大学に多くの合格者を出しています。また、カトリック系の学校らしく週1時間「宗教」の授業があるのも特徴で、奉仕体験学習や、イースター、クリスマスなどの年間行事を通じてカトリック的人間の生き方や世界観などを知的・体験的に学びます。

運営はカトリック系の学校法人晃華学園が行っており、関連校にはマリアの園幼稚園、晃華学園小学校などがあります。

卒業生には、アナウンサーの松尾翠などがいます。

前ひだの正面部分が幅広い

夏服（なつふく）

冬服
ふゆふく

桜華女学院高等学校

住所	〒189-0024　東京都東村山市富士見町2-5-1
電話	042-391-4133
アクセス	●小川駅（西武 拝島線　国分寺線）より徒歩12分 ●久米川駅（西武 新宿線）よりバス10分 →明法学院前停留所（西武バス）より徒歩3分 ●新小平駅（JR 武蔵野線）よりバス15分 →桜華女学院停留所（銀河鉄道、スクールバス）
創立	1958年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.ohka.ed.jp/

プラウスは
シンプルな
開襟シャツ

夏服

桜華女学院は、2009年度から教育体系やカリキュラムを大幅に見直し、同時に制服のデザインも一新しました。目指すイメージは、国際社会で活躍する女性です。冬服は無地のブレザー＆スカート。ブラウスの襟元にはピンクのリボンかネクタイが選べます。夏服はグレーを基調としたチェック柄のスカートにブラウスのみのシンプルなスタイル。夏冬ともにソックスは黒で、ブラウスの上にベストを合わせることができます。

校名からはわかりませんが、日本体育大学の姉妹校です。そのため、普通コースのほかに、女子校には珍しいスポーツコースと福祉コースを設置しており、運動部の活動も盛んです。

経営は学校法人日本体育会が行っており、日本体育大学のほか、日本体育大学女子短期大学部、日体荏原高等学校、柏日体高等学校、浜松日体中学校・高等学校、日体幼稚園、日体柔整専門学校も同グループ校です。

卒業生には、カヌー選手の竹下百合子がいます。

鶴川高等学校

住所	〒195-0054　東京都町田市三輪町122
電話	044-988-1126
アクセス	●柿生駅（小田急 小田原線）より徒歩12分 ●鶴川駅（小田急 小田原線）よりバス10分 →鶴川高校前停留所（神奈川中央交通） ●市が尾駅（東急 田園都市線）よりバス20分 →新中野橋停留所（東急バス、小田急バス）
創立	1961年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.tsurukawa.ed.jp/

世界的デザイナーの花井幸子が手がけた制服は生徒たちにも大好評。特に夏服のデザインは個性的で、ボタン式のスカートをベルトで締めると女性らしいシルエットが際立ちます。胸あてつきのブラウスには、白いラインが特徴的な紺色のネクタイがつき、襟の先端にはワンポイントの金ボタンがついています。冬服は紺色のブレザーと、夏よりもシックな色合いのチェック柄スカートと同柄のベスト。ブレザーは4つ、ベストに4つ、スカートに3つと、金ボタンがたくさんついているのが特徴です。襟元には赤いリボンを合わせます。

キリスト教に基づく「敬愛の教育」を建学の精神に掲げる本校では、心豊かな女性の育成を目指し、創設以来徳育に力を入れています。生徒たちは徳育の授業で聖書や偉人の生涯を学ぶことにより、偏差値では計れない心の充足を得ています。

経営母体は学校法人明泉学園。併設校に鶴川女子短期大学と鶴川女子短期大学附属幼稚園があります。

本校には、タレントの安西ひろこも一時期在籍していました。

フェリス女学院高等学校

住所	〒231-8660　神奈川県横浜市中区山手町178
電話	045-641-0242
アクセス	●石川町駅（JR 京浜東北線　根岸線）より徒歩7分
創立	1870年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.ferris.ed.jp/

冬服は紺地に赤のライン、夏服は涼しげな水色の地に白いラインが入ったセーラー服。リボンの色は冬が赤、夏が黒です。夏冬ともに袖口の3本ラインが斜めに入っているのが特徴で、左腕には校章の刺繍が施されています。このデザインは制定以来ほとんど変わっていませんが、今も昔も地元女子の憧れの的となっています。

プロテスタント系ミッションスクールのフェリス女学院は、お嬢様校というイメージが強いわりに校則はゆるやかで、校風はいたって自由です。その一方で、東京大学をはじめとする難関校への進学率が高く、県内でもトップクラスの進学校として知られています。こうしたことから「神奈川女子御三家」の筆頭として君臨し、女子中学受験における最難関校のひとつとなっています。

フェリス女学院大学は同校の上級学校ですが、高校からの進学者はほとんどいません。

卒業生には、女優の大島さと子、作家の荻野アンナ、ミュージシャンの原由子などがいます。

冬服
ふゆふく

横浜女学院高等学校

住所	〒231-8661　神奈川県横浜市中区山手町203
電話	045-641-3284
アクセス	●石川町駅（JR京浜東北線　根岸線）より徒歩7分
創立	1947年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.yjg y-gakuin.ed.jp/

襟を外に出して着用するのがポイント

1990年にモデルチェンジした制服は、ファッションデザイナー田山淳朗によるデザイン。冬服は、ジャケットの丈がやや長めで、ジャケットから白いブラウスの襟を出して着用します。夏服は、白い半袖ブラウスにスカートのシンプルかつ清楚なスタイル。正装は夏冬とも紺無地のスカートですが、2008年度からは準制服としてタータンチェックのスカートが2種類追加され、コーディネートの幅がぐっと広がりました。

天気の良い日には教室から富士山が一望できるという、風光明媚な丘の上に位置する横浜女学院。学校に続く長い坂道は生徒たちの通学路となっていることから「乙女坂」と呼ばれており、毎日登下校の時間帯になると、文字通り大勢の乙女たちがこの坂を行き交う姿が見られます。また、本校はプロテスタント系のミッションスクールであり、校訓は「愛と誠」というイエス・キリストの教えに基づいたものになっています。

経営は学校法人横浜学院が行っており、横浜学院幼稚園は同校の併設校です。

冬服（ふゆふく）

夏服
なつふく

横浜富士見丘学園中等教育学校

住所	〒241-8502　神奈川県横浜市旭区中沢1-24-1
電話	045-367-4380
アクセス	●二俣川駅（相鉄 本線　いずみ野線）より徒歩12分
創立	1923年
募集	中学のみ
公式サイト	http //www fujimigaoka.ed jp/

中高共通のセーラー服は、胸元にくるんと結んだ小さなリボンがかわいらしく、受験生からも人気のデザイン。リボンの色は中学にあたる一～三年生が初々しいイメージの赤、高校にあたる四～六年生は落ち着いた紺です。冬服は紺地にエンジ色の３本ライン、夏服は白地に紺色の３本ラインが入っており、セーラー服の基本をしっかり踏襲した清楚な仕上がり。学力はまだまだ発展途上の同校ですが、制服だけは県内の伝統校にも引けを取りません。学校指定のエンブレムつきのカーディガンを上から羽織るとまたシックな装いとなり素敵です。

横浜富士見丘学園は2007年度より完全中高一貫教育システムを導入し、富士見丘中学校・高等学校を統合して校名を横浜富士見丘学園中等教育学校に改めました。これを機に移転した新校舎には1,000名収容の大ホールや屋上庭園のような最新鋭の施設がそろっており、マザーホール、アンジェラホール、リリベットカフェなど、ネーミングも凝ったものになっています。

夏服（なつふく）

冬服
ふゆふく

高木（たかぎ）学園女子高等学校

住所	〒222-0011　神奈川県横浜市港北区菊名7-6-43
電話	045-431-8188
アクセス	●菊名駅（東急 東横線、JR 横浜線）より徒歩7分
創立	1908年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.takagigakuen.ed.jp/

赤と白の縁取りが
特徴的なデザイン

2010年度から採用の新しい制服はとっても個性的なデザイン。冬服は、紺色のブレザーにワインレッドとホワイトの2色の縁取りが鮮やかです。また、紺地のプリーツスカートにもワインレッドとホワイトのチェック柄が入ります。胸元にはスカートとお揃いのチェック柄のリボンまたはネクタイを着用します。夏服は、白またはピンクのブラウスとプリーツスカート。スカートは一見すると冬服と同じですが、チェックのラインの色がグリーン、パープルなどの夏らしい色になっています。

本校は「信頼し得る婦人、実際に役立つ婦人」の育成を目指し、裁縫や作法の学校として始まりました。創立100周年を迎え、校舎、体育館ともに新しくなりましたが、創立時からの高木イズムは健在で、卒業後は大学進学よりも、専門学校進学や就職を選ぶ生徒が多いようです。

卒業生には、テンプスタッフ株式会社創業社長の篠原欣子、三菱UFJ信託銀行で初の女性支店長となった山口智子など、高卒ながらも実業界で活躍している女性が多数います。

冬服（ふゆふく）

北鎌倉女子学園高等学校

住所	〒247-0062　神奈川県鎌倉市山ノ内913
電話	0467-22-6900
アクセス	●北鎌倉駅（JR横須賀線）より徒歩7分
創立	1940年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.kitakama.ac.jp/

本校の制服はオリジナリティの高いセーラー服です。上着の色が、夏服は白、冬服は紺ですが、基本デザインは変わりません。夏冬ともセーラーカラーと袖口が紺色で、スクールカラーのエンジ色の3本線があるのがポイント。スカーフの代わりに幅広の短いネクタイを結ぶのが特徴で、ネクタイには花文字で"KG"と刺繍が入っています。

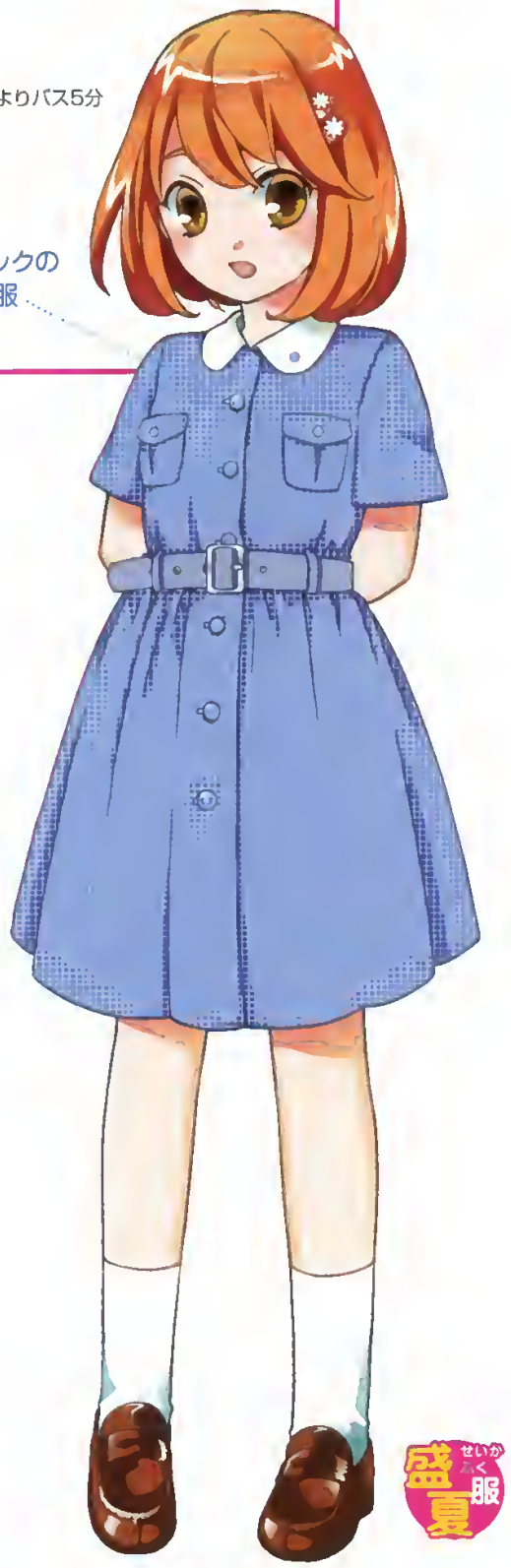
礼儀作法を重んじるお嬢様学校で、校則は非常に厳しいようです。そのため、学外でも制服を着崩したり化粧をした生徒は見かけません。本校のあいさつはお嬢様学校定番の「ごきげんよう」ですが、かなり徹底されているらしく、本校を訪れると「ごきげんよう」の嵐に見舞われ萎縮してしまうほどです。のんびりした生徒が多い印象ですが、四年制大学への進学率は右肩上がりで伸びており、2008年度にはついに80％を超えました。また、本校の音楽科は、毎年東京藝術大学への合格者を出していることで定評があります。

卒業生には、元女優の内藤洋子、タレントの東原亜希などがいます。

清泉女学院高等学校

住所	〒247-0074　神奈川県鎌倉市城廻200
電話	0467-46-3171
アクセス	●大船駅（JR東海道線　横須賀線　根岸線、湘南モノレール江の島線）よりバス5分 →清泉女学院停留所（神奈中バス）
創立	1947年
募集	中学のみ
公式サイト	http://izumi seisen-h ed.jp/

ギンガムチェックの
爽やかな盛夏服……



盛夏服

冬の正装はベージュのブラウスにジャンパースカートのみのシンプルスタイル。寒い日はこの上から紺のボックスコートや紋章入りのセーターをプラスします。夏はピンストライプの半袖ブラウスに冬服と同じデザインのジャンパースカートを着用しますが、7月から9月の暑い時期にはワンピースタイプの盛夏服も選べます。盛夏服は丸襟と角襟の2種類があり、どちらも色味は爽やかなスカイブルーです。

姉妹校の清泉女子大学は聖心女子大学、白百合女子大学とともに“3S”と呼ばれるミッション系のお嬢様大学。もちろん本校もお嬢様ぶりでは負けておらず、のんびりとマイペースな校風から生徒たちの育ちの良さがうかがえます。

同校の姉妹校には清泉女子大学のほか、清泉女学院大学、清泉女学院短期大学、長野清泉女学院高等学校、清泉小学校などがあります。

卒業生には、声優の藤井佳代子、女優の真野響子、フィギュアスケート選手の村主章枝、前千葉県知事の堂本暁子などがいます。

鎌倉女学院高等学校

住所	〒248-0014　神奈川県鎌倉市由比ガ浜2-10-4
電話	0467-25-2100
アクセス	●鎌倉駅（JR 横須賀線、江ノ電 江ノ島電鉄線）より徒歩7分
創立	1904年
募集	中学のみ
公式サイト	http://www.kamajo.ac.jp/

被る生徒はほぼいない幻のベレー帽

冬服（ふゆふく）

関東地区

鎌倉女学院は通称「鎌女（かまじょ）」と呼ばれ、中学、高校とも昔ながらのベーシックなセーラー服です。夏服は白の上着に紺のプリーツスカートを合わせ、セーラーカラーと袖口は紺色で、白い3本線があります。冬服は上下とも紺色ですが、やはりセーラーカラーと袖口に白い3本線があります。鎌女の制服といえば鎌女結びが特徴。高校生は黒、中学生は紺色のスカーフを、たっぷりふくらませて結びます。オプションとしてベレー帽もありますが、着用している生徒を見かけるのはごくまれです。

鎌倉ではお嬢様学校として知られ、中高完全一貫教育を採用しています。また、教育目標として「知的で洗練された女性エリートの育成」を掲げており、大学への進学率が90％近いのも特徴です。

近くにある鎌倉女子大とは名前が似ているものの、まったく関係はありません。略称が被るため外部の人は混乱するようで、本校では「鎌女」で商標を取りオリジナルを主張しています。

卒業生には、声優の大原さやかなどがいます。

静岡県西遠女子学園高等学校

住所	〒430-0807　静岡県浜松市中区佐藤3-20-1
電話	053-461-0374
アクセス	●浜松駅（JR東海道本線）よりバス10分 →西遠学園入口停留所または西遠学園停留所（遠鉄バス）
創立	1906年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.seien.ed.jp/

創立100年を超える伝統校ですが、セーラー服はちょっと変わったデザインです。基本デザインは夏冬とも同じで、胸元にはスカーフも胸あてもなく、襟元の2つボタンに紐をかけて留める独特のデザインになっています。夏服は白の上着と紺のプリーツスカートの組み合わせで、セーラーカラーやポケット開口部に紺をあしらったオーソドックスな配色。冬服は上着もスカートも紺ですが、セーラーカラーに入る2本線と左胸ポケットのラインが鮮やかな黄色なので、一目で西遠女子だとわかる配色です。

本校は県内でも有数の女子進学校です。四年制大学への80％以上もの高い合格率を誇り、毎年旧帝大をはじめとする超難関大学にも合格者を出しています。また、校訓が「典雅、荘重」というのはなんだか浮世離れした感じですが、それも県内西部随一のお嬢様学校だからでしょう。学内行事にも七夕、かるた会、節分など和風なものが多く見られ、校訓どおり「典雅で荘重」な感じがします。

卒業生には、アナウンサーの田中宏枝などがいます。

不二聖心女子学院高等学校

住所	〒410-1126　静岡県裾野市桃園198
電話	055-992-0213
アクセス	●裾野駅（JR 御殿場線）よりバス8分（スクールバス） ●三島駅（JR 東海道線）よりバス25分（スクールバス）
創立	1953年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.fujiseishin-jh.ed.jp/

かなり珍しい茶系グレーのチェック柄

基本のスタイルは年間を通してブラウス、ベスト、プリーツスカートの組み合わせ。ベストとスカートは茶色がかったグレー系の細かいチェック柄で、冬はこの上から茶色い無地のジャケットを着用します。

不二聖心女子学院の校内はサルが現れるほど自然豊かで、国内の学校では北海道大学に次いで2番目に敷地が広いとされています。キャンパスが俗世間から離れた場所にあるせいか同校ではユニークな決まりごとが多く、その代表として挙げられるのが「エンジェル制度」なるものです。これは最上級生の高三を「エンジェルさん」、新入生の中一を「チャイルド」と呼び、それぞれのエンジェルさんに、担当するチャイルドを割り当てて面倒を見させるというもの。ネーミングがいかにもミッション系お嬢様学校の聖心らしい感じです。

同校の姉妹校は聖心女子大学のほか、聖心女子専門学校、聖心女子学院中等科・高等科、小林聖心女子学院、札幌聖心女子学院中学校・高等学校などがあります。

卒業生には、政治家の佐藤ゆかり、アナウンサーの千野志麻などがいます。

冬服（ふゆふく）

Sugiyama

椙山女学園高等学校

住所	〒464-0832　愛知県名古屋市千種区山添町2-2
電話	052-751-8131
アクセス	●覚王山駅（名古屋市営 東山線）より徒歩7分
創立	1948年
募集	中学高校
公式サイト	http://www.sugiyama-u.ac.jp/koukou/

冬服はオーソドックスなダブルのスーツですが、ジャケットの下に着るU字ネックのジャンパースカートがかわいいと評判です。夏服はジャケット風の白い開襟ブラウスが個性的なデザイン。冬同様6つボタンのダブルの合わせですが、こちらは一番上のボタン2個が襟の横についています。シルエットは冬服よりもタイトで、スタイルが良く見えるラインになっています。

椙山女学園は、「名古屋嬢」と呼ばれる派手な女子の通うお嬢様学校として知られており、愛知淑徳高等学校、金城学院高等学校とともに“SSK”と呼ばれる「名古屋御三家」の一角を占めています。

経営は学校法人椙山女学園が行っており、椙山女学園大学をはじめ、椙山女学園大学附属小学校、椙山女学園大学附属幼稚園なども同グループの所属。幼稚園から大学院まで揃った数少ない女子校で、本校からは約7割の生徒が椙山女学園大学に進学しています。

卒業生には、ジャズシンガーの阿川泰子、フィギュアスケート選手の中野友加里などがいます。

桜花学園高等学校

住所	〒466-0013　愛知県名古屋市昭和区緑町1-7
電話	052-741-1221
アクセス	●荒畑駅（名古屋市営 鶴舞線）より徒歩4分 ●御器所駅（名古屋市営 桜通線）より徒歩7分 ●鶴舞駅（JR 中央本線、名古屋市営 鶴舞線）より徒歩13分
創立	1923年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.ohka.ac.jp/

2008年度から新制服となっています。以前はちょっと地味なセーラー服でしたが、この伝統ある2本線のセーラー服をベースに、ミッシェルクラン・スコレールとのコラボにより新時代の制服として生まれ変わりました。全13種類のパーツから自由に組み合わせを選べるのが特徴で、夏服と中間服は白色の上着、冬服は紺色の上着がベースです。プリーツスカートは紺色かピンク色のチェック柄、リボンは紺、ピンク、チェック柄の3種類から選べ、個性を出した着こなしができます。

以前は、名古屋短期大学付属高等学校という校名で親しまれていましたが、1999年に現在の校名に改称しました。桜花学園はバスケットボールの強豪校として全国に名を轟かせており、インターハイやウィンターカップでの優勝常連校です。また、大学への進学率も高く、県内の大学への進学が多いのが特徴となっています。

運営は、学校法人桜花学園が行っており、同グループには、桜花学園大学、名古屋短期大学、名古屋短期大学付属幼稚園があります。

修文女子高等学校（しゅうぶん）

住所	〒491-0938　愛知県一宮市日光町6-1
電話	0586-45-2102
アクセス	●尾張一宮駅（JR 東海道本線）より徒歩15分またはバス5分（スクールバス） ●名鉄一宮駅（名鉄 名古屋本線　尾西線）より徒歩15分またはバス5分（スクールバス）
創立	1941年
募集	高校のみ
公式サイト	http://www.joshi-ko.ichinomiya.ac.jp/

旧名は「一宮女子高等学校」でしたが、2008年度より校名が変わり、かつてのブレザーとジャンパースカートの制服から、時代に逆行するようにセーラー服となりました。とはいえ、さすがOLIVE des OLIVEの手がけたセーラー服はスタイリッシュで、ネクタイのようなスカーフや、背面が三角形のセーラーカラーなど新しさを感じさせます。夏服は白い上着に薄い紺色のスカーフ、冬服は濃紺の上着にクリーム色のスカーフを合わせます。また、胸あてがなく、セーラーカラーと袖口の濃紺地に走る白線が引き締まった印象を与えます。

本校には、普通科、情報会計科、家政科、食物調理科があり、かつては四年制大学に進学する生徒はほとんどいませんでしたが、ここ数年で急激に増えてきました。また、毎年12月には外部のホールを借りて家政科ファッションショーを開催しており、好評を博しているようです。

運営は学校法人一宮女学園が行っており、同グループには修文大学附属一宮幼稚園、修文大学附属藤ヶ丘幼稚園、修文大学短期大学部、修文大学があります。

岐阜女子高等学校

住所	〒501-6002　岐阜県羽島郡岐南町三宅1-130
電話	058-245-2670
アクセス	●切通駅（名鉄 各務原線）より徒歩5分 ●長森駅（JR 高山線）より徒歩18分
創立	1940年
募集	高校のみ
公式サイト	http //www.gifujoshi ed jp/

制服は森英恵のデザインで、トータルイメージとして「爽やかで落ち着いた色合い」を挙げています。冬服はブレザーにセーラー服の襟をつけたようなセーラーブレザーで、襟と袖にはグリーンの太いラインが目を引き、左胸にはエンブレムが付きます。中間服は、ブレザーの代わりにベストを合わせますが、ベストの左胸にもエンブレムがあるのは珍しい仕様です。夏服はセーラー服のようなデザインの白いブラウスに、グリーン系のチェックのスカート。冬服と中間服では紺と緑のストライプのネクタイを締めますが、これは夏服になく、爽やかな夏らしい装いとなっています。

本校はスポーツに力を入れており、特にバスケットボールの強豪として知られ、インターハイに16年連続18回の出場を果たすなどめざましい活躍を見せています。

オーストラリアのオール・ハローズ高校、セント・アイダンス高校とは姉妹校提携をしており、交換留学制度もあります。

バスケットボールの名門校だけあり、卒業生には、双子の田中優里と沙希など、多くの実業団選手がいます。

冬服（ふゆふく）